

## Society 5.0 が実現するデータ駆動型まちづくり—展望と課題—

日時：2019年5月28日（火）14時00分～17時20分  
 会場：日本大学経済学部7号館講堂（最寄駅 JR 水道橋駅東口）  
<http://www.eco.nihon-u.ac.jp/about/maps/>  
 主催：横幹技術協議会、横幹連合  
 参加費：横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は参加無料、  
 その他2,000円（資料代含む）。当日資料代：1,000円（希望者のみ）  
 参加申込：【事前登録】オンライン申込（[https://www.trasti.jp/forum/forum55\\_kyg.html](https://www.trasti.jp/forum/forum55_kyg.html)）

### 【企画趣旨】

Society 5.0 が実現するデータ駆動型の新たな都市システムがもたらす価値は何か？データ・セキュリティをめぐる不安とはいかなるものか？これらの不安を克服し、Society 5.0 が標榜する人間中心・住民主体の都市を構築していくために何が必要なのか？専門家の議論を通じて、人間のための都市のあり方を議論します。

### 【プログラム】

(敬称略)  
 総合司会：赤津雅晴(㈱日立製作所・  
 横幹技術協議会 理事)

14:00-14:10 (10分)	開会あいさつ	TBD
14:10-14:50 (40分)	◆講演1 「Society 5.0 を具現化するデータ駆動型未来都市—ハビタットイノベーション—」	出口 敦 (東京大学 新領域創成科学研究科教授)
14:50-15:30 (40分)	◆講演2 「データがわれわれが暮らす社会にもたらすインパクト、新しいサービス・ビジネスの展望」	平山 雄太 (WEF C4IR 日本センタ)
15:30-15:45 (15分)	休憩	
15:45-16:25 (40分)	◆講演3 「データ駆動型社会のリスクについて—「人間中心」社会の実現に向けたデータ活用のあり方—」	唐沢 かおり (東京大学 人文社会系研究科教授)
16:25-16:30 (5分)	休憩 (会場準備)	
16:30-17:10 (40分)	◆パネルディスカッション	パネラー 出口 敦 平山 雄太 唐沢 かおり  高野真 (フォーブス・ジャパン編集長)
17:10-17:20 (5分)	閉会あいさつ	モデレータ 谷 繁幸 (日立製作所)  TBD

<p><b>講演1</b></p>	<p>「Society 5.0を具現化するデータ駆動型未来都市 —ハビタットイノベーション—」</p> <p>◆出口 敦(東京大学 新領域創成科学研究科教授)</p> <p>日立東大ラボでは、企業を持つ技術開発力と大学の持つ知の力を組み合わせた研究開発を通じ、居住からの変革=“ハビタット・イノベーション”によるSociety 5.0のビジョンの検討、実現に向けた理論や方法についての研究、および関連技術の開発を進めています。</p> <p>本講演では、日立東大ラボで得られた知見に基づくSociety 5.0のビジョン、技術開発の考え方、現代の都市が抱える課題解決に向けた新たな取組みを紹介すると共に、産学官の連携や工学、人文科学、社会科学の知見を合わせた産学協創の可能性を紹介します。</p>
<p><b>講演2</b></p>	<p>「データがわれわれが暮らす社会にもたらすインパクト、新しいサービス・ビジネスの展望」</p> <p>◆平山 雄太(WEF C4IR 日本センタ)</p> <p>データの取得・集約技術が進歩し、Society 5.0が目指すCyber空間とPhysical空間の融合による過去に例を見ないきめ細やかなサービス、新しい価値の創造のチャンスが、より多くの人々に訪れています。</p> <p>われわれの暮らしの場である都市空間において、提供されることになるであろう新しいサービスやそれがもたらす新しい生活スタイル、これを支える新しいデータ駆動型ビジネス(チャンス)について事例と、関連するC4IRの取組も交えて紹介します。</p>
<p><b>講演3</b></p>	<p>「データ駆動型社会のリスクについて —「人間中心」社会の実現に向けたデータ活用のあり方—」</p> <p>◆唐沢 かおり(東京大学 人文社会系研究科教授)</p> <p>大量の情報を集約し高速で処理して活用するビッグデータ時代が到来し、膨大な情報を駆使して、経済や社会の活性化につなげようとする動きが活発になっています。しかし、ここには個人の尊厳や、倫理に関する重大なリスク、葛藤があることを忘れてはなりません。ビッグデータの活用がもたらす問題や倫理的な課題について、人の心や行動の特性という観点から考えるとともに、Society 5.0が標榜する「人間中心」のデータ駆動型社会に向けて、考察すべき論点を紹介します。</p>
<p><b>パネルディスカッション</b></p>	<p>データが革新する社会(サービス・ビジネス) —人間らしい暮らしを実現するために—</p> <p>①データがもたらす新しいサービス/暮らし ②データ駆動社会が同時にもたらす憂いについて ③課題をクリアし、憂いを回避するための方策について ④まとめ</p> <p>パネラー：出口 敦、平山 雄太、唐沢 かおり、高野真(フォーブス・ジャパン編集長) モデレータ：谷 繁幸(日立製作所)</p>